

2022年度 応用地形判読士資格検定試験 (通算第10回)

受験から登録までの手続き

試 験 日 : 2022年10月22日(土)

受験申請受付け : 2022年5月23日～同年7月4日

合格発表(予定) : 2023年2月20日

登録期間(予定) : 2023年2月20日～同年3月22日

資格検定試験の実施について

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、受験のお申し込みをいただいた後に試験を中止することがあり得ますこと、あらかじめご承知おきください。

2022年4月



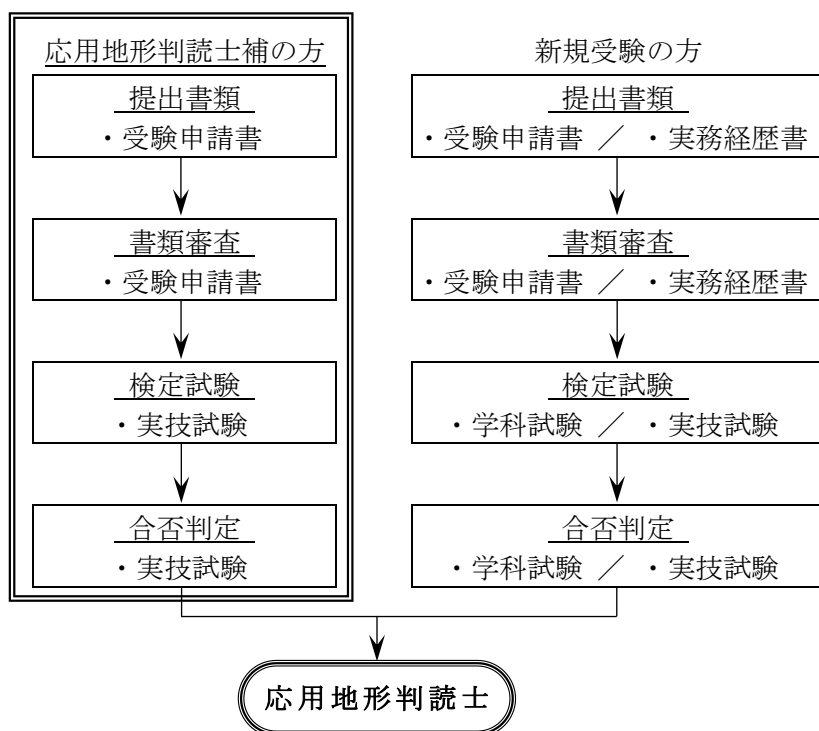
一般社団法人全国地質調査業協会連合会

《 応用地形判読士補の方 》

□ 応用地形判読士補に登録されている方の受験は、試験制度の改訂に伴い、次のようになります。

1. 受験資格：応用地形判読士補に登録された段階で既得とする。
2. 提出書類：＜受験申請書＞ のみを提出する。（＜実務経歴書＞ の提出は不要）
3. 検定試験：実技試験のみを受験する。（学科試験は免除）
4. 受験料：2021年度と同額。（税込み 27,000 円）

□ 応用地形判読士補に登録されている方の受験の流れは、次のようになります。



□ 応用地形判読士補に登録されている方の有効期限および受験申請書の提出期限は、次のようになります。

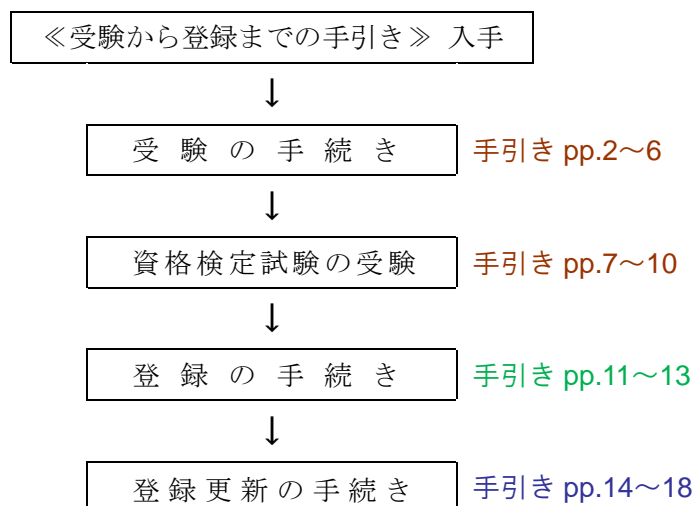
※ 2020年度の二次試験を中止したことから、2017年度～2019年度に合格した方については、特例措置として、応用地形判読士補の有効期限および申請期限を1年延長しました。

一次試験に合格した年度	応用地形判読士補の有効期限	応用地形判読士補への登録申請および／または受験申請書の提出期限
2021年度	2026年3月31日	2025年7月上旬*
2020年度	2025年3月31日	2024年7月上旬*
2019年度	2025年3月31日	2024年7月上旬*
2018年度	2024年3月31日	2023年7月上旬*
2017年度	2023年3月31日	2022年7月上旬*

注) 提出期限の [7月上旬*] は、当該年度の受験申請書の受付期限を意味します。

目次

I. 制度の概要	1
1. 制度の主旨	1
2. 資格取得までの流れ	1
II. 資格検定試験	2
1. 概要	2
2. 受験資格	2
3. 試験の構成	2
4. 受験の手続き	3
5. 受験票の送付	6
6. 受験	7
7. 受験後	10
III. 登録	11
1. 概要	11
2. 資格	11
3. 登録の手続き	11
4. 登録	13
IV. 登録更新	14
1. 概要	14
2. 登録更新の要件	14
3. 登録更新の手続き	15
4. 登録更新	18
V. その他	19
1. 個人情報の保護	19
2. 不可抗力による試験の中止など	19
3. e-learning について	19
4. 参考図書	19



I. 制度の概要

I. 制度の概要

1. 制度の主旨

地形は、誰でも見るすることができます。地形を見る眼を養うことで、あらかじめ安全性の高い場所を選択することや、災害時に身を守ることができるようになります。また、地形図を読み慣れた山の愛好家は、登山中の自分の位置を特定することや、地形図を眺めながら山容をイメージして登山している気分を楽しむことができます。

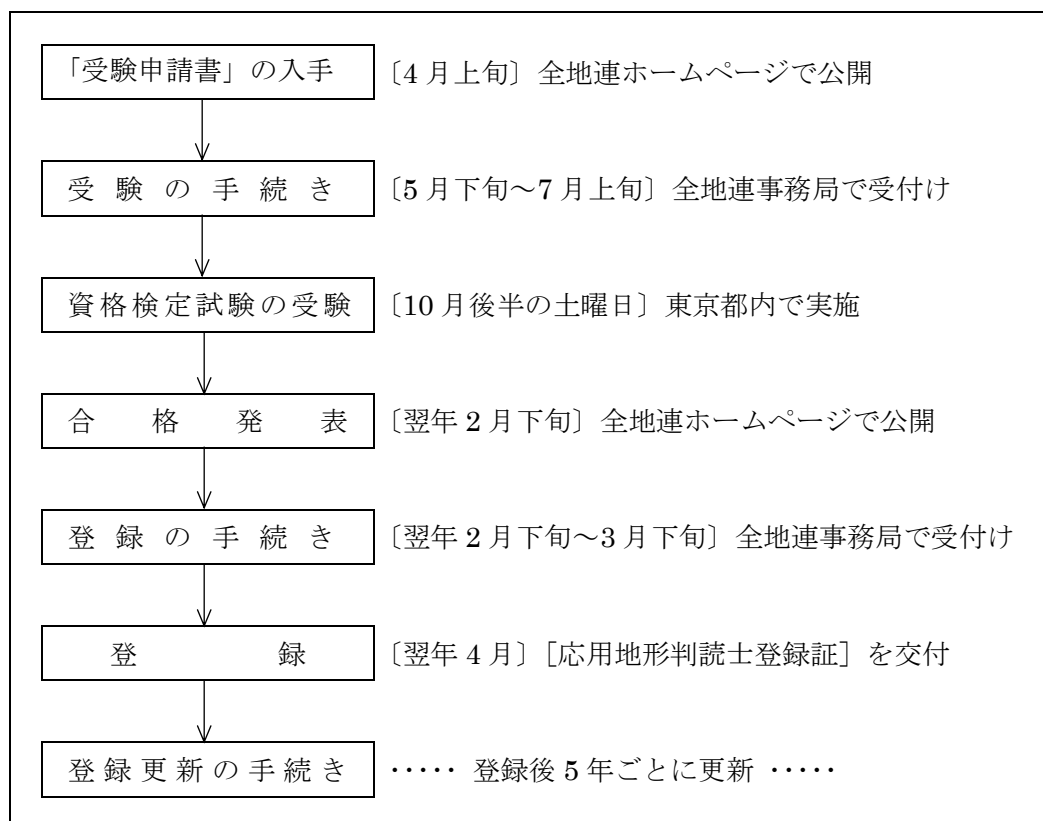
一方、地形図や空中写真を用いる地形判読技術では、特定の成因によって形成された地形の種類を認定する正確さと精度が必要となります。また、社会資本を整備するうえからは、地形の構成素材である地質を想定し、地形の種類と周辺地形との相対位置とを勘案して、地形リスクを適切に判断できることが重要です。つまり、地形判読に携わる技術者に求められる能力は、判読技術に留まらず、地質を含む広範な知識と経験、並びに洞察力が不可欠です。

“地形と地質のわかる技術者”により判読された地形情報の活用は、脆弱な地質状況という特殊事情を抱える日本の建設事業の安全・安心に繋がるものであります。

<創設目的>

- ☆ 地形と地形判読に関する知識を身につけ、“防災・減災”に役立てる人材を広く育成する。
- ☆ 優れた地形判読技術を有し、地形リスクを判断できる応用能力を修得した技術者を認定する。
- ☆ 応用地形判読士を利活用することの有用性を広め、当該技術の普及と関連技術者の育成を図る。

2. 資格取得までの流れ



Ⅱ. 資格検定試験

Ⅱ. 資格検定試験

1. 概要

試験は、次の2部構成となっています。

午前の部：地形判読に必要な基礎知識および専門知識を問う学科試験

午後の部：地形判読士として必要な技術能力を問う実技試験

2. 受験資格

「地形」「地理」「地質」に関連する業務、調査－研究－開発、教育－指導などの実務に、年間8箇月程度以上携わった経歴を5年以上有すること。

上記の実務経歴と重ならない時期に大学院に在籍し修了した者で、修士論文・博士論文執筆のために地形判読を利活用した者は、実務経歴に次の年数を含めることができる。

修士の学位を取得した場合／博士の学位を取得した場合：各々につき1年

◎ 応用地形判読士補に登録されている方は、受験資格の既得者とします。

3. 試験の構成

試験日 2022年10月22日（土）

試験時間 9時30分～11時（学科試験）

12時30分～15時30分（実技試験）

試験科目 学科試験-1：地形，地質，地形判読などに関する基礎知識 [15問15点満点]

学科試験-2：地形，地質，地形判読などに関する専門知識 [10問30点満点]

学科試験-3：地形用語などに関する専門知識 [5問15点満点]

※ 学科試験-1と学科試験-2は多肢択一式（マークシート）。

学科試験-3は地形の説明文から地形用語を記述。

実技試験-1：地形図読図と空中写真判読により 地形分類図などを作成識（例えば平野） [1問]

実技試験-2：実技試験-1で得た地形情報に基づき 応用地形学的な所見などを論述（800字程度以内） [1問]

実技試験-3：地形図読図と空中写真判読により 地形分類図などを作成識（例えば山地） [1問]

実技試験-4：実技試験-3で得た地形情報に基づき 応用地形学的な所見などを論述（800字程度以内） [1問]

※ 実技試験-1と実技試験-2の計が100点 } 合計200点満点
実技試験-3と実技試験-4の計が100点 }

➤ 過去5年間程度の試験問題は、以下に掲載しています。

全地連ホームページ <https://www.zenchiren.or.jp/>

資格制度のご案内 > 応用地形判読士 > 資格検定試験 > 過去の情報 > 試験問題

（学科試験は「一次試験」、実技試験は「二次試験」を参照してください。）

◎ 応用地形判読士補に登録されている方は、学科試験が免除されます。

Ⅱ. 資格検定試験

4. 受験の手続き

(1) 必要書類の入手

受験の申込みに必要な書類は、全地連ホームページからダウンロードしてください。

資格制度のご案内 > 応用地形判読士 > 提出書類の様式 > 受験申請書 と 実務経歴書

(2) 書類の作成

受験申込みの際に提出する書類は、＜応用地形判読士資格検定試験 受験申請書＞ と ＜実務経歴書＞ の2点です。

〔提出書類の様式〕から「受験申請書」と「実務経歴書」を選択し、様式をPCに保存してください。次に、受験の申込みに必要な事項を入力の上、印刷してください。

また、受験申請書と実務経歴書を手書きにより作成される方は、様式を印刷して、黒インクのボールペンなどを用いて、受験の申込みに必要な事項を、楷書で丁寧に記入してください。英数記号を記入する際には、大文字、小文字、全角、半角、ピリオド、コンマ、ハイフン、アンダーバーなどが容易に識別できるよう、特にご配慮ください。

受験申請書は、次の要領にしたがい作成してください。

- ① 申請日、生年月日その他の年号は、西暦で入力または記入してください。
- ② 氏名欄には、住民票と同じ氏名を入力または記入してください。
- ③ 年齢欄には、申請日現在の年齢を入力または記入してください。
- ④ 現住所欄には、居住地の住所（アパート・マンション名などを含む）を入力または記入してください。本人確認のため、受験票および合否通知は、現住所欄にある住所宛に郵送します。
- ⑤ 連絡先1（本人）欄には、最も確実に連絡のとれる電話番号、ファックス番号、メールアドレスを入力または記入してください。このとき、行末のいずれかを選択してください。
- ⑥ 連絡先2（本人以外）欄は、試験当日、会場で受験者に万一のことがあったときなどの緊急連絡先になります。連絡先の電話番号と、受験者との続柄を入力または記入してください。なお、緊急連絡先とした方には、あらかじめその旨を周知してください。
- ⑦ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は「自営」）および所属部課名、またはこれに相当する事項を記入または入力してください。なお、申請時点で無職の方は、「なし」としてください。
- ⑧ 受験料振込欄には、振込手続きを行った月日を入力または記入してください。振込依頼人が受験者と異なる場合は、{Ⅱ. 4. (4) 受験手数料の振込み (p.5)} の②を参照してください。

◎ 応用地形判読士補に登録されている方は、[一次試験合格の記録] も入力してください。

受験のお申し込みの際して（必ずご確認ください。）

新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、受験のお申し込みをいただいた後に試験を中止することがあり得ますこと、あらかじめご承知おきください。

Ⅱ. 資格検定試験

受験申請書の右側にある写真票は、次の要領にしたがい作成してください。

- ① 申請日前 3 ヶ月以内に撮影した、本人であることが容易に識別できる写真（無帽、正面、上三分身）を使用してください。
 - ② 大きさは縦 5cm×横 4cm 程度として、カラー、白黒は問いません。
 - ③ 眼鏡使用の方は、眼鏡着用時の写真を使用してください。
 - ④ 写真の下欄に、撮影月日を入力または記入してください。
 - ⑤ 受験地、氏名、生年月日および年齢の各欄は、受験申請書と同じにしてください。
- ※ 作成した <応用地形判読士資格検定試験 受験申請書> は印刷して、裏面に氏名を記入した写真を、所定の位置に、はがれないように貼り付けてください。

実務経歴書の記載内容により、受験資格の有無を判定します。次の要領にしたがい、作成してください。

- ① 申請日その他の年号は、西暦で入力または記入してください。
- ② 氏名欄には、受験申請書と同じ氏名を入力または記入してください。
- ③ 最終学歴欄には、卒業した学校名、学部・学科名などと、卒業年月を入力または記入してください。中途退学された方は、その一つ前の学歴を入力または記入してください。
- ④ 保有資格欄には、資格の名称と取得年月を、最大 3 件まで、入力または記入してください。
- ⑤ 実務経歴欄には、実務の内容と実施期間を入力または記入してください。

大学院において修士論文・博士論文執筆のために地形判読を利活用した方は、その内容を実務経歴に入力または記入してください。

経歴は古い順から、1 業務あたり 200 文字程度以内で入力または記入してください。

実務経歴の欄外にある氏名は、紙に印刷した後、必ず自筆により署名してください。

☆ 受験資格に『年間 8 箇月程度以上携わった経歴を 5 年以上有する』とありますが、年間 8 箇月に相当する業務すべてを 5 年以上記載する必要はありません。実施期間が短い業務であっても、年間数件計上すれば、1 年の実務経歴があるとみなします。

☆ <実務経歴書> は、16 件の実務経歴を入力できるように作成してあります。やむを得ずこれを超過する方、あるいは手書きにより作成される方は、上記の要領にしたがい、本票の様式に準じた帳票を使用されてもかまいません。

◎ 応用地形判読士補に登録されている方は、<実務経歴書> の提出は不要です。

《注意事項》

- ◇ 申請内容に誤りや虚偽があった場合、受験することができなかつたり不合格となつたりすることがあります。
 - ◇ 身体の不自由な方などで受験に際して特別な措置を希望される方は、申込み時に文書で申請してください（文書の様式は問いません）。
- ※ 作成した <応用地形判読士資格検定試験 受験申請書> と <実務経歴書> は、後の確認用として保管することを推奨します。

Ⅱ. 資格検定試験

(3) 受験の申込み

作成した <応用地形判読士資格検定試験 受験申請書> と <実務経歴書> を、全地連事務局宛に郵送してください。

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 3階
一般社団法人全国地質調査業協会連合会 事務局 応用地形判読士係
電話番号 (03) 3518-8873

受付期間：2022年5月23日～同年7月4日

《注意事項》

- ◇ 申込み後は、提出書類の返却はいたしません。
- ◇ 受けは郵送のみとします。ファックス、電子メール、持参による申込みはできません。
- ◇ 受付期間内の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理しません。
- ◇ 受付期間内であっても試験会場が定員に達した以降は、受験申込みをお受けできません。
- ◇ 申込み以降に氏名、現住所および連絡先が変更になったときは、全地連事務局へ必ずご連絡ください。ただちに、受験者データを更新します。

(4) 受験手数料の振込み

受験手数料は38,000円(税込み)です。

受付期間内に、次の口座にお振込みください。

三菱UFJ銀行 本郷支店
普通預金 口座番号 1017677
(社)全国地質調査業協会連合会

受験手数料は、次の要領にしたがってお振込みください。

- ① 振込み手続きの際、振込用紙の振込依頼人名は、次のように記載してください。

受験申請：9+受験者氏名(先頭の9は他の資格検定試験と識別するため)
応用地形判読士の登録申請：氏名+受験番号 / 登録更新申請：氏名+登録番号

- ② ただし、振込依頼人が受験者と異なる場合は、受験申請書の受験料振込欄に、振込依頼人名を記入または入力してください。

なお、複数名の受験料をまとめて振込むことも可能です。

◎ 応用地形判読士補に登録されている方の受験手数料は、27,000円(税込み)です。

《注意事項》

- ◇ 申込み後の受験手数料は、返還いたしません。
- ◇ 振込みに要する送金手数料は、受験者でご負担ください。
- ◇ 受験手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替などでは納入できません。
- ◇ 全地連は、受験手数料振込みの領収書は発行いたしません。振込取扱票の控えをもって、領収書に替えさせていただきます。

Ⅱ. 資格検定試験

5. 受験票の送付

(1) 送付の時期

受験票は、試験日のおよそ1ヶ月前に送付します。

(2) 送付の方法

受験票は、受験申請書に記載の現住所宛に郵送します。

《注意事項》

- ◇ 10月に入っても受験票が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。
- ◇ 受験票の記載に間違いがあるときは、全地連事務局に必ずご通知ください。ただちに、受験者データを修正します。
- ◇ 受験票は、試験当日必ず持参してください。
- ◇ 受験票に印字してある【受験番号】は、応用地形判読士として登録するときまで使います。大切に保管してください。

II. 資格検定試験

6. 受験

(1) 試験日時

試験日時：2022年10月22日（土） 9時30分～15時30分

午前の部：9時30分～11時 学科試験（全30問）

午後の部：12時30分～15時30分 実技試験（全2問）

◎ 応用地形判読士補に登録されている方は、学科試験が免除されます。12時頃に、試験会場前にお集まりください。

(2) 試験会場

施設名：連合会館 2階

所在地：東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 Tel (03) 3253-1771

アクセスマップ：<https://rengokaikan.jp/access/index.html>（確認日：2022年3月3日）



《注意事項》

- ◇ あらかじめ、所在地などにより試験会場の詳しい場所をご確認ください。
- ◇ 公共交通機関によるアクセスをご検討ください。
- ◇ 施設への直接のお問い合わせは、お控えください。

Ⅱ. 資格検定試験

(3) 受験にあたって

- ✓ 試験会場は、9時から入室できます。9時15分までに入室してください。
遅刻された方には、受験をお断りする場合があります。受験していただく場合でも、終了時刻の延長はありません。
- ✓ 席は受験番号で指定してあります。指定された席で受験してください。
- ✓ 受験票は必ず持参し、試験監督や係員の指示にしたがい提示してください。また、試験中は、机の上の見えやすい位置に置いてください。
- ✓ 次の文房具などをご用意いただき、試験会場へご持参ください。

鉛筆またはシャープペンシル(芯は黒色でHB程度の硬さ)/プラスチック製の消しゴム/定規/三角スケール/色鉛筆(12色以上)/軟質色鉛筆(ダーマトグラフなど)/鉛筆削り/拡大鏡/実体鏡/時計。

- ✓ 文房具などの貸し出しはいたしません。
- ✓ 試験会場内で時計を使用することはできますが、時計以外の機能を有するウェアラブル端末(例えばスマートウォッチ)などの使用は不可とします。
- ✓ 携帯電話などの通信機器やアラーム音が出る装置は、入室前に必ず電源を切ってください。
- ✓ 試験会場では、試験監督や係員の指示にしたがってください。
- ✓ 不正行為(試験の進行を妨害する行為、他の受験者の迷惑となる行為、試験の公平性を損なう行為など)または試験監督の指示にしたがわないときは、即刻退場を命じます。この場合、すべての科目について採点対象から除外し、不合格とします。
また、試験後に不正行為による合格が明らかになったときは、合格を取り消しとし、その前後の手続きもすべて無効とします。
- ✓ 試験問題の内容に関する質問には応じません。設問どおりに解釈して、解答してください。
問題用紙や答案用紙にページの欠落や不鮮明な箇所があった場合などは、手を挙げて試験監督に申し出てください。
- ✓ 昼食や飲み物は、各自で調達してください。
- ✓ 試験会場内の温度は管理しますが、感じかたには個人差があります。温度調節のしやすい服装で受験してください。

◎ 応用地形判読士補に登録されている方は、12時頃に試験会場前にお集まりください。

受験に際しては、全地連ホームページのEVENTに掲載してあります
次の注意事項を、必ず参照してください。

【重要】新型コロナウイルス感染症に関わる検定試験の実施について

Ⅱ. 資格検定試験

✓ 学科試験の注意事項

- ◆ 学科試験の答案用紙には、「受験者氏名」と「受験番号」を必ず記入してください。
未記入であったり間違っている答案は、採点対象からすべて除外し、不合格とします。
- ◆ 問題用紙は、試験終了後または途中退出時に、お持ち帰りください。ただし、答案用紙の持ち帰りは、厳禁とします。

✓ 実技試験の注意事項

- ◆ 空中写真判読に使用する実体鏡は、持参していただくことを原則とします。
- ◆ 試験開始前（12時15分頃）に試験会場に入室し、実体鏡をセットして、状態を確認してください。
なお、試験に使用する机のサイズは、幅180cm×奥行45cmです。
- ◆ 実技試験の答案用紙（地形図）には、「受験番号」を必ず記入してください。
また、実技試験の答案用紙（記号凡例用紙と論述式答案用紙）には、「受験番号」と「問題番号」を必ず記入してください。
未記入であったり間違っている答案は、採点対象からすべて除外し、不合格とします。
- ◆ 問題用紙は、試験終了後または途中退出時に、お持ち帰りください。ただし、地形図、記号凡例用紙、論述式答案用紙および空中写真の持ち帰りは、厳禁とします。

◎ 応用地形判読士補に登録されている方は学科試験が免除されますので、12時頃に試験会場前にお集まりください。

Ⅱ. 資格検定試験

7. 受験後

(1) 合格発表と合格基準

合格発表日：2023年2月20日（予定）

合格通知：受験完了者全員に、[合否通知] を郵送します。《発表日に発送》

合格者名簿（受験番号）を、全地連ホームページで公開します。《発表日の午前中》

合格基準：学科試験／3科目すべての正答率が50%程度以上 かつ

【目 安】

合計点が満点の65%程度以上

実技試験／4科目すべての正答率が50%程度以上 かつ

合計点が満点の60%程度以上

上記の合格基準は、目安です。

その他：合格者には、[応用地形判読士合格証] を郵送します。

また、<応用地形判読士 登録申請書> を同封します。

《注意事項》

◇ 3月に入っても合否通知が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

◇ 得点や合否などについては、たとえご本人であっても、一切お答えいたしません。

(2) 登録

合格者は、2023年3月22日までに登録申請手続きを行うことで、応用地形判読士に登録されます。期限までに登録を申請されない場合、試験の合格が取り消されかつ、応用地形判読士となる権利を喪失します。

詳細は、Ⅲ. 登録〔応用地形判読士〕(pp.11～13)をご覧ください。

Ⅲ. 登録

1. 概要

資格検定試験に合格された方が応用地形判読士となるには、所定の期間内に登録の申請をして、登録を受ける必要があります。

2. 資格

登録された方は、“応用地形判読士”の名称を用いて地形判読を行うことができます。

3. 登録の手続き

(1) 必要書類の入手

登録の申請に必要な書類は、[応用地形判読士合格証] とともにお送りします。

お手元がない場合は、全地連ホームページからダウンロードしてください。

資格制度のご案内 > 応用地形判読士 > 提出書類の様式 > 登録申請書

(2) 書類の作成

登録申請の際に提出する書類は、<応用地形判読士 登録申請書> のみです。

[提出書類の様式] から登録申請書の様式を選択し、PCに保存してください。次に、登録申請に必要な事項を入力の上、印刷してください。

また、登録申請書を手書きにより作成される方は、様式を印刷して、黒インクのボールペンなどを用いて、登録申請に必要な事項を、楷書で丁寧に記入してください。英数記号を記入する際には、大文字、小文字、全角、半角、ピリオド、コンマ、ハイフン、アンダーバーなどが容易に識別できるよう、特にご配慮ください。

登録申請書は、次の要領にしたがい作成してください。

- ① 申請日、生年月日その他の年号は、西暦で入力または記入してください。
- ② 受験番号は、お手持ちの[受験票]に記載の受験番号です。
- ③ 氏名欄には、住民票と同じ氏名を入力または記入してください。
- ④ 年齢欄には、申請日現在の年齢を入力または記入してください。
- ⑤ 現住所欄には、居住地の住所（アパート・マンション名などを含む）を入力または記入してください。本人確認のため、登録証は、現住所欄にある住所宛てに郵送します。
- ⑥ 連絡先欄には、最も確実に連絡のとれる電話番号、ファックス番号、メールアドレスを入力または記入してください。このとき、行末のいずれかを選択してください。
- ⑦ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は「自営」）および所属部課名、またはこれに相当する事項を入力または記入してください。
なお、申請時点で無職の方は、「なし」としてください。
- ⑧ 登録料振込欄には、振込手続きを行った月日を入力または記入してください。
振込依頼人が登録者と異なる場合は、{Ⅱ. 4. (4) 受験手数料の振込み (p.5)} の②を参照してください。
- ⑨ 資格者情報として、登録番号、氏名、所属機関、有効期限を、全地連ホームページで公開します。非公開を望まれる方は、別途お申し出ください。

Ⅲ. 登録

(3) 登録の申請

作成した <応用地形判読士 登録申請書> を、全地連事務局宛に郵送してください。

受付け期間：2023年2月20日（予定）～ 同年3月22日

この期間内に登録を申請されない場合、試験の合格が取消されかつ、応用地形判読士となる権利を喪失します。

《注意事項》

- ◇ 申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ◇ 受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メール、持参による申請はできません。
- ◇ 受付け期間内の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理しません。

(4) 登録手数料の振込み

登録手数料は13,200円（税込み）です。

受付け期間内に、{Ⅱ. 4. (4) 受験手数料の振込み (p.5)} に準拠して、お振込みください。

《注意事項》

- ◇ 申請後の登録手数料は、返還いたしません。
- ◇ 振込みに要する送金手数料は、登録者でご負担ください。
- ◇ 登録手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替などでは納入できません。
- ◇ 全地連は、登録手数料振込みの領収書は発行いたしません。振込取扱票の控えをもって、領収書に替えさせていただきます。

4. 登録

(1) 登録

登録申請書に基づき、全地連事務局が《応用地形判読士登録簿》に登録し、[応用地形判読士登録証]を交付します。また、資格者情報（登録番号、氏名、所属機関、有効期限）を、全地連ホームページで公開します。

応用地形判読士登録証の有効期間は5年間です。

応用地形判読士登録簿は、登録証の有効期限まで管理します。

《注意事項》

◇ 4月下旬になっても[応用地形判読士登録証]が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

(2) 登録事項の変更

登録後に、氏名、現住所、連絡先 または 所属機関を変更されたとき、あるいは資格者情報の公開／非公開の変更を希望されるときは、全地連事務局へ[変更届]を必ずご提出ください。

登録者データおよび資格者情報を更新します。

登録事項の変更に伴い、あるいは何らかの事由で登録証の再発行が必要なときも、全地連事務局へ[変更届]をご提出ください。[応用地形判読士登録証]を、有償で再発行いたします。

(3) 登録の抹消

応用地形判読士が次のいずれかに該当すると認められたときは、応用地形判読士の資格を剥奪し、登録を抹消します。

- ◆ 応用地形判読士が虚偽または不正の事実に基づいて登録を受けた場合.
- ◆ 応用地形判読士の信用を傷つけまたは全地連の不名誉となるような行為をした場合.

この措置を受けた方は、今後、応用地形判読士資格検定試験を受験することはできません。

(4) 登録更新

応用地形判読士登録証の更新には、5年間で継続教育125単位（CPDH単位）の取得が必要です。

早い時期に VI. 登録更新 (pp.14~18) をご確認ください、今後取得するCPDの計画や学習記録の整理にお役立てください

IV. 登録更新

1. 概要

応用地形判読士の資格を継続するためには、有効期間の 5 年ごとに登録更新の申請をして、登録更新を受ける必要があります。

2. 登録更新の要件

応用地形判読士の登録更新には、『技術者の継続教育（CPD）』制度を採用しています。

次に示す実施形態の継続教育を実施して、5 年間に 125 単位（CPDH 単位）を取得する必要があります。このうち、50 単位以上は地形判読に関連する内容としてください。

- | | | |
|------------------|---|-------------------------------------|
| 実
施
形
態 | } | I. 講習会、研修会、講演会、シンポジウム、見学会等への参加（受講）. |
| | | II. 論文・報告文などの口頭発表・掲載・査読. |
| | | III. 企業内研修（受講）. |
| | | IV. 研修会・講習会などの講師・研修技術者指導. |
| | | v. 業務の技術的な評価. |
| | | VI. その他（技術者の資質向上に役立つものに限る）. |

『CPD の実施形態と時間重み係数および CPD 時間の関係』などは、“土質・地質技術者生涯学習協議会、または“公益社団法人日本技術士会、が示す指標の最新版を適用してください。

なお、土質・地質技術者生涯学習協議会が独自に設定する〔V5：現場管理経験〕と〔V6：現場経験〕については、内容を以下のように読み替えてください（V7 と V8 は対象外）。

- ◆ V5：地形判読を主とした業務 または 地形判読を利活用した業務
- ◆ V6：地形判読を伴わない地質調査業務

《注意事項》

- ◇ 応用地形判読士が定められた期間内に登録更新の申請をしない場合、または登録更新の要件を満たしていない場合は、有効期限をもって応用地形判読士の資格を喪失します。

海外出張、入院加療などの理由により登録更新手続きを行えない場合は、事前に全地連事務局へご相談ください。別途、状況に応じた対応を検討いたします。

3. 登録更新の手続き

(1) 必要書類の入手

登録更新の申請に必要な書類は、全地連ホームページからダウンロードしてください。

資格制度のご案内 > 応用地形判読士 > 提出書類の様式 > 登録更新申請書

(2) 書類の作成

登録更新申請の際に提出する書類は、<応用地形判読士 登録更新申請書> と、継続教育の裏付けとなる“CPD 記録簿など（名称や様式は問いません）”の2点です。

〔提出書類の様式〕から登録更新申請書の様式を選択し、PCに保存してください。次に、登録更新の申請に必要な事項を入力の上、印刷してください。

また、登録更新申請書を手書きにより作成される方は、様式を印刷して、黒インクのボールペンなどを用いて、登録更新の申請に必要な事項を、楷書で丁寧に記入してください。英数記号を記入する際には、大文字、小文字、全角、半角、ピリオド、コンマ、ハイフン、アンダーバーなどが容易に識別できるよう、特にご配慮ください。

登録申請申請書は、次の要領にしたがい作成してください。

- ① 申請日、生年月日その他の年号は、西暦で入力または記入してください。
- ② 登録番号は、お手持ちの〔応用地形判読士登録証〕に記載の登録番号です。
- ③ 氏名欄には、住民票と同じ氏名を入力または記入してください。
- ④ 年齢欄には、申請日現在の年齢を入力または記入してください。
- ⑤ 現住所欄には、居住地の住所（アパート・マンション名などを含む）を入力または記入してください。本人確認のため、新たな登録証は、現住所欄にある住所宛てに郵送します。
- ⑥ 連絡先欄には、最も確実に連絡のとれる電話番号、ファックス番号、メールアドレスを入力または記入してください。このとき、行末のいずれかを選択してください。
- ⑦ 所属機関には、研究機関や学校などを含みます。勤務先（自営の場合は「自営」）および所属部課名、またはこれに相当する事項を入力または記入してください。
なお、申請時点で無職の方は、「なし」としてください。
- ⑧ 継続教育の記録欄には、登録されている団体名および対象期間内に取得した CPD 単位数を入力または記入してください。ただし、CPD を個人で管理されている方は、登録団体名を「なし」としてください。
- ⑨ 登録料振込欄には、振込手続きを行った月日を入力または記入してください。
振込依頼人が登録者と異なる場合は、{Ⅱ. 4. (4) 受験手数料の振込み (p.5)} の②を参照してください。

判読士登録更新申請書には、取得単位の裏付けとなる“CPD 記録簿など（名称や様式は問いません）”を必ず添付してください。

IV. 登録更新

CPDの取得期間

初回の登録更新：合格した年度の検定試験合格発表日 ～ 登録更新を申請する日

2回目以降の登録更新：前回登録更新を申請した日の翌日 ～ 今回登録更新を申請する日

CPD記録簿などには、CPDごとに以下の14項目を記載してください。

① 番号：時系列に整理したCPD記録に、1番からの通し番号をつけてください。	
② 主催者名：CPDの内容に応じて、次を参考に記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講習会などへの参加または講習会などの講師 → 行事を主催した機関名 ・社内研修会への参加または社内研修会などの講師 → 企業名（例：当社 ○○(株)） ・論文などの発表 → 行事を主催または企画した機関名 ・技術書の購読など → 自己学習 ・委員会などへの出席 → 委員会を主催した機関名 ・業務経験 → 発注者名（下請負人で受注した場合は 元請負人も併記） 	
③ プログラム名：CPDの内容に応じて、次を参考に記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講習会などへの参加または講習会などの講師 → 講習会の名称など ・社内研修会への参加または社内研修会などの講師 → 研修会の名称またはテーマなど ・論文などの発表 → 発表場所（発表会または書籍の名称など）および論文のタイトルなど ・技術書の購読など → 学習の目的またはテーマなど ・委員会などへの出席 → 委員会名など ・業務経験 → 業務名称 	
④ プログラム番号：講習会などの主催者が整理番号等を割当てている場合は、その番号をご記入ください。	
⑤ 教育分野：	登録団体により異なります。任意でご利用ください。
⑥ 教育形態：	
⑦ 開始年月日：	CPDの実施期間について、開始年月日または終了年月日を、西暦で記入してください。資格取得によりCPDを取得した場合は、資格取得日を両方に記入してください。
⑧ 終了年月日：	
⑨ 参加単位：	取得したCPD単位と、その算出根拠となる数量、単位およびCPD単位を記入していただきます。算出根拠となる数量を⑨、単位を⑩、取得したCPD単位を⑪に記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・記入例：自己学習を3時間実施しCPD単位を1.5取得した場合 → ⑨参加単位=3 ⑩単位=時間 ⑪CPD単位=1.5 ・⑪CPD単位に小数点以下が生じるときは、0.5単位刻みで記入してください。 ・主催者が設定したCPD単位がある時はその単位を⑪に記入し、目安として⑨と⑩も記入してください。
⑩ 単位：	
⑪ CPD単位：	
⑫ 主催者証明：CPD取得証明書に相当する書類がお手元にある場合は、“○”を記入してください。書類がない場合は“－”としてください。 ※ 取得証明書の有無が更新の可否に影響することはありません。ただし、取得の証拠として、書類の提出を求めることがあります。	
⑬ 認定機関名：⑫と関連して、CPDを付与した機関名を記入してください。 申請者本人がCPDを算出した場合は《本人》、勤務の場合は《勤務先》と記入してください。	
⑭ プログラム内容：登録更新の対象となるCPDであるかを判断する重要な項目です。取得されたCPDの内容について、客観的に分かりやすく書いてください。	

注1) 下線を付した②と③および⑦～⑭は必須項目です。必ずご記入ください。

注2) 地形判読に関連する単位は、i) ①番号をマーキングする、ii) 備考欄を設けて特記する、iii) 別シートにまとめる、iv) メモを添付するなどして、識別してください。

(3) 登録更新の申請

作成した <応用地形判読士 登録更新申請書> に取得単位の裏付けになる資料を添付して、全地連事務局宛に郵送してください。

受付け期間（予定）：有効期限となる年度の12月1日～翌月の15日

“登録証の有効期限”と“登録更新の受付け期間(予定)”の関係は、最終ページの次にある表でご確認ください。また、登録番号は、全地連ホームページに掲載しています。

資格制度のご案内 > 応用地形判読士 > 資格者名簿

この期間内に登録更新を申請しない場合、または登録更新に必要な継続教育の単位数を満たしていない場合は、登録証に記載している有効期限をもって、応用地形判読士の資格を喪失します。

《注意事項》

- ◇ 申請後は、提出書類の返却はいたしません。
- ◇ 受付けは郵送のみとします。ファックス、電子メール、持参による申請はできません。
- ◇ 受付け期間内の消印が有効です。期限を過ぎた消印の書類は、受理しません。
- ◇ 申請された CPD の内容について、更新の対象となるか否かの判断がつかない場合は、内容確認のためご連絡させていただきます。また、申請内容によっては、書類の再提出を求める場合があるほか、CPD 取得を証明できる資料（CPD 取得証明書、社内研修の資料、自己学習資料教材など）の提出を求めることがあります。
- ◇ 申請された CPD は、内容により更新の対象外と判断することがあります。対象になるとお考えの CPD が 125 単位を超えて取得されている方は、申請の際、CPD 記録簿などに所要の単位数を超えて申請されることをお勧めします。

(4) 登録更新手数料の振込み

登録更新手数料については、全地連ホームページなどで、別途ご案内いたします。登録更新手続きをされる際に、ご確認ください。

受付け期間内に、{II. 4. (4) 受験手数料の振込み (p.5)} に準拠して、お振込みください。

《注意事項》

- ◇ 申請後の登録更新手数料は、返還いたしません。
- ◇ 振込みに要する送金手数料は、登録更新者でご負担ください。
- ◇ 登録更新手数料は、現金書留、定額小為替、普通為替などでは納入できません。
- ◇ 全地連は、登録更新手数料振込みの領収書は発行いたしません。振込取扱票の控えをもって、領収書に替えさせていただきます。

4. 登録更新

(1) 更新の登録

判読士登録更新申請書に基づき、全地連事務局が《応用地形判読士登録簿》を更新し、新たな[応用地形判読士登録証]を交付します。また、全地連ホームページで公開している 資格者情報（登録番号、氏名、所属機関、有効期限）を更新します。

このとき、更新しても 登録番号 の変更はありません。

《注意事項》

◇ 3 月下旬になっても新たな[応用地形判読士登録証]が届かないときは、全地連事務局にお問い合わせください。

◇ 有効期限を過ぎた登録証は、お手数ですが廃棄してください。

(2) 登録事項の変更

登録更新後に、氏名、現住所、連絡先 または 所属機関を変更されたとき、あるいは資格者情報の公開／非公開の変更を希望されるときは、全地連事務局へ[変更届]を必ずご提出ください。登録者データおよび資格者情報を更新します。

また、変更に伴い、あるいは何らかの事由で登録証の再発行が必要なときも、全地連事務局へ[変更届]をご提出ください。有償で再発行いたします。

(3) 登録の抹消

応用地形判読士が次のいずれかに該当すると認められたときは、応用地形判読士の資格を剥奪し登録を抹消します。

- ◆ 応用地形判読士が 虚偽または不正の事実に基づいて登録を受けた場合。
- ◆ 応用地形判読士の信用を傷つけまたは全地連の不名誉となるような行為をした場合。

この措置を受けた方は、今後、応用地形判読士資格検定試験を受験することはできません。

お 願 い

本資格検定試験制度では、登録更新に『技術者の継続教育（CPD：Continuing Professional Development）』制度を採用し、更新の時期と更新に必要な単位数を設定しています。

しかし、CPD 制度は、周辺環境の要請に応じて変化しつつあります。そのため、登録更新を受けられる 5 年後には、CPD の基本単位あるいは CPD 記録簿などに記載していただく項目の変更などもあり得ます。

登録更新に臨まれる際は、“土質・地質技術者生涯学習協議会”、または“公益社団法人日本技術士会”のホームページでご確認ください。

V. その他

V. その他

1. 個人情報の保護

この手引きにより申請された個人情報は、全地連『個人情報及び企業情報保護方針』に基づき取扱います。応用地形判読士資格検定試験および登録に係る事務手続き以外の目的で使用することは、ありません。

2. 不可抗力による試験の中止など

台風、地震その他の不可抗力により、試験を中止する場合があります。

この他、一部地域で受験できない状況が発生したときなどは、受験日または直後の営業日に、全地連事務局へご連絡ください。状況に応じた対応を検討いたします。

3. e-learning について

全地連ホームページでは、過去 5 年間程度の問題および正解、または解答のヒントとなる情報を公開しています。自己学習の資料として、ご活用ください。

4. 参考図書

書 籍 名	著 者 編 者	発 行 者
建設技術者のための地形図読図入門 1～4	鈴木 隆介	古今書院
地形の辞典	日本地形学連合	朝倉書店
地形分類図の読み方・作り方 改訂増補版	大矢 雅彦 ほか	古今書院
地形工学入門	今村 遼平	鹿島出版会
日本の地形 1 総説	米倉 伸之 ほか	東京大学出版会
トンネル技術者のための地相入門	大島 洋志 ほか	土木工学社
危ない地形・地質の見極め方	上野 将司	日経 BP 社
いまさら聞けない 地形判読	西村 智博 ほか	日本測量協会
自然災害の予測と対策	水谷 武司	朝倉書店
図説 日本の活断層	岡田 篤正・八木 浩司	朝倉書店
安全な土地	今村 遼平	東京書籍
防災地形 (第 2 版)	水谷 武司	古今書院
写真と図でみる地形学	貝塚 爽平 ほか	東京大学出版会
発達史地形学	貝塚 爽平	東京大学出版会
地形変化の科学	松倉 公憲	朝倉書店
地球のテクトニクス I 堆積学・変動地形学	箕浦 幸治 ほか	共立出版
目でみる山地災害のための微地形判読	大石 道夫	鹿島出版会
空中写真による地すべり調査の実際	日本測量調査技術協会	鹿島出版会
建設技術者のための 土砂災害の地形判読実例問題 (中・上級編)	井上 公夫	古今書院
山地の地形工学	日本応用地質学会	古今書院
地すべり地形の判読法	大八木 規夫	近未来社
活断層地形判読	渡辺 満久・鈴木 康弘	古今書院

注) 上記の図書は、出題とは関係ありません。

<参考>

◇ 旧制度下の 応用地形判読士補

※ 2020年度の二次試験を中止したことから、2017年度～2019年度に合格した方については、特例措置として、応用地形判読士補の有効期限および申請期限を1年延長しました。

一次試験に合格した年度	応用地形判読士補の有効期限	応用地形判読士補への登録申請および/または受験申請書の提出期限
2021年度	2026年3月31日	2025年7月上旬*
2020年度	2025年3月31日	2024年7月上旬*
2019年度	2025年3月31日	2024年7月上旬*
2018年度	2024年3月31日	2023年7月上旬*
2017年度	2023年3月31日	2022年7月上旬*

注) 提出期限の [7月上旬*] は、当該年度の受験申請書の受付け期限を意味します。

◇ 応用地形判読士

対象となる登録番号	応用地形判読士登録証の有効期限	登録更新の受付け期間 (予定)
22-***	2028年3月31日	2027年12月1日 ～2028年1月15日
21-*** 16-***	2027年3月31日	2026年12月1日 ～2027年1月15日
20-*** 15-***	2026年3月31日	2025年12月1日 ～2026年1月15日
19-*** 14-***	2025年3月31日	2024年12月1日 ～2025年1月15日
18-*** 13-***	2024年3月31日	2023年12月1日 ～2024年1月15日
17-*** 12-***	2023年3月31日	2022年12月1日 ～2023年1月15日

注) 登録更新の受付け期間と方法の詳細は、該当する年度の11月頃、全地連ホームページでご確認ください。

2022年度 応用地形判読士資格検定試験
(通算第10回)

受験から登録までの手引き

<お問い合わせ／お申込み先>

一般社団法人全国地質調査業協会連合会 事務局 応用地形判読士係

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル 3階

Tel. (03) 3518-8873 Fax. (03) 3518-8876

<https://www.zenchiren.or.jp/>